



Scanner Utility (Ver6.3) 解説書

ユニテック・ジャパン株式会社

Ver1.0

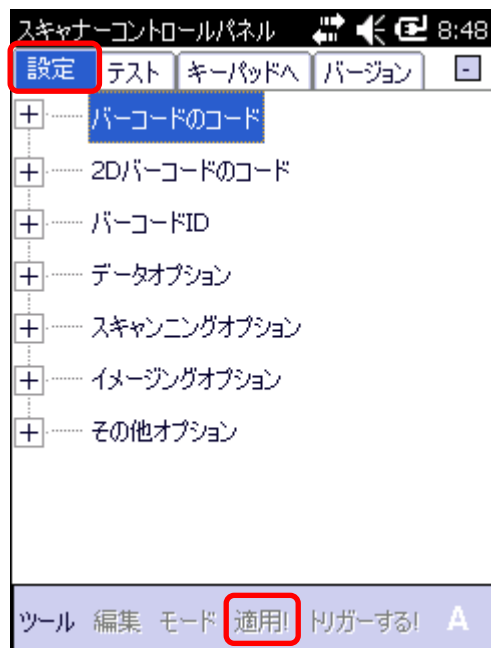
目次

1. 「設定」タブ	2
2. 「テスト」タブ	2
3. 「キーパッドへ」タブ	3
4. 「バージョン」タブ	3
5. 設定項目	4
5.1. バーコードのコード	4
5.1.1 Codabar 詳細設定	4
5.1.2 Code128 詳細設定	5
5.1.3 Code39 詳細設定	5
5.1.5 Interleaved 2 of 5 詳細設定	6
5.1.6 JAN/EAN/UPC 詳細設定	7
5.1.7 MSI 詳細設定	8
5.1.8 Pharma 詳細設定	8
5.1.9 RSS (Databar) 詳細設定	8
5.2. 2D バーコードのコード	9
5.2.1 Aztec 詳細設定	9
5.2.2 Composite 詳細設定	10
5.2.3 Data Matrix 詳細設定	10
5.2.4 MaxiCode 詳細設定	11
5.2.5 PDF-417 詳細設定	11
5.2.6 Composite 詳細設定	11
5.2.7 QR Code 詳細設定	12
5.3. バーコード ID	13
5.4. データオプション	14
5.5. スキャニングオプション	15
5.6. イメージングオプション・その他オプション	16

スキャナ Utility(Ver6.3)解説書

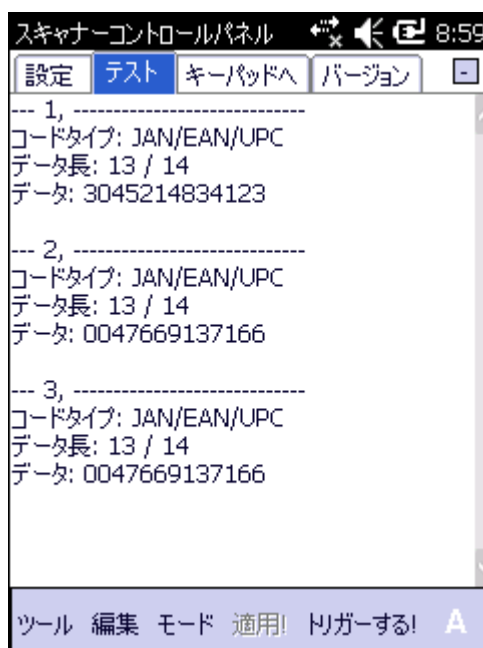
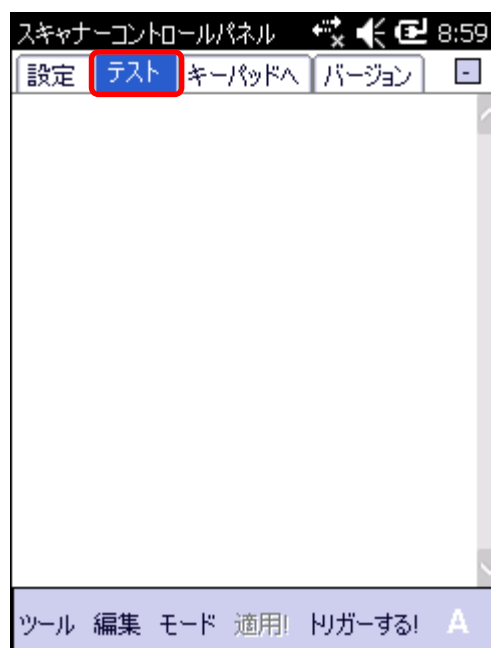
1. 「設定」タブ

設定タブより各種設定が可能です。設定変更後は画面下の『適用！』が表示されますのでタップして設定を反映します。



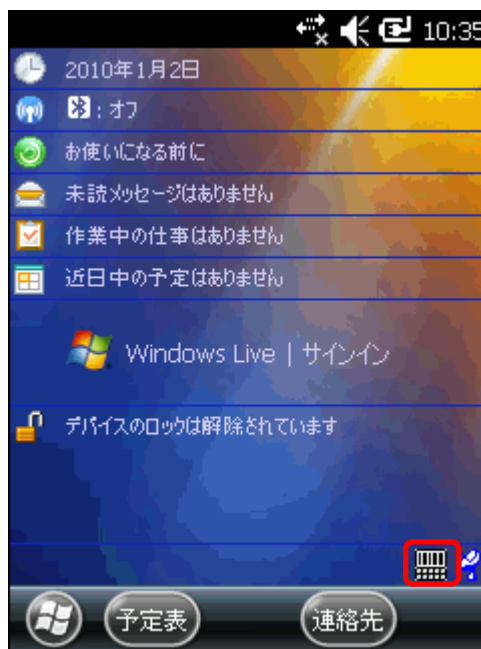
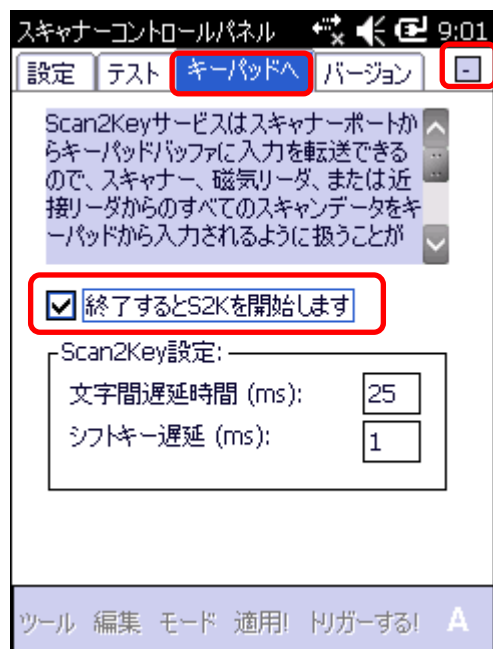
2. 「テスト」タブ

テストタブよりスキャナの読取りテストが可能です。



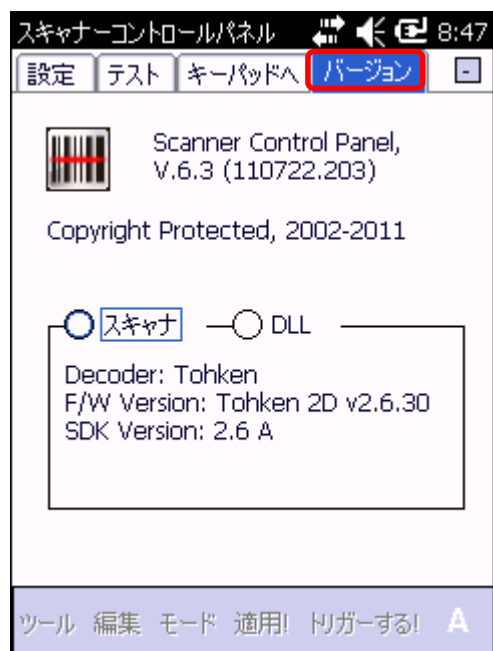
3. 「キーパッドへ」タブ

『終了すると S2K を開始します』にチェックを入れ、右上のボタンより終了することで、Scan2Key が起動します。Scan 2 Key はスキャナから読み取ったデータをキーボード入力へ転送する常駐型アプリケーションです。Scan 2 Key を開始するとエディタ（Microsoft OneNote、EXCEL 等）へのデータ出力が可能となります。Scan 2 Key 起動中は画面左下に下図のアイコンが表示されます。



4. 「バージョン」タブ

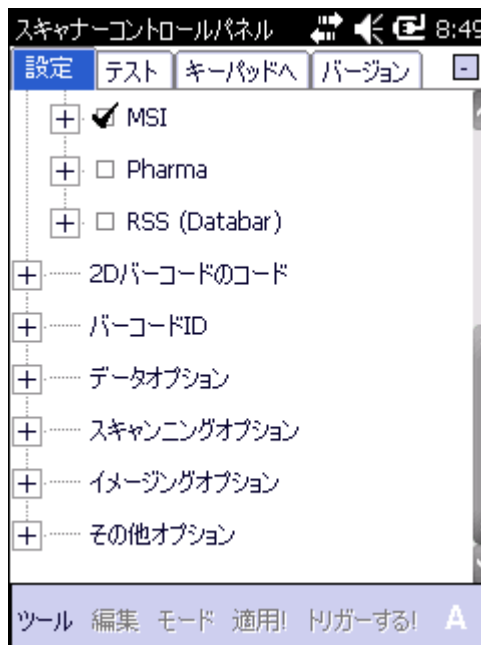
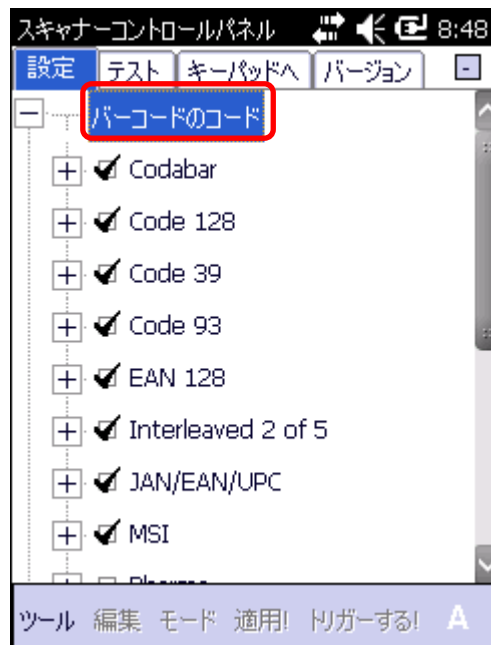
バージョンタブよりスキャナ Utility や DLL 等のバージョンが確認できます。



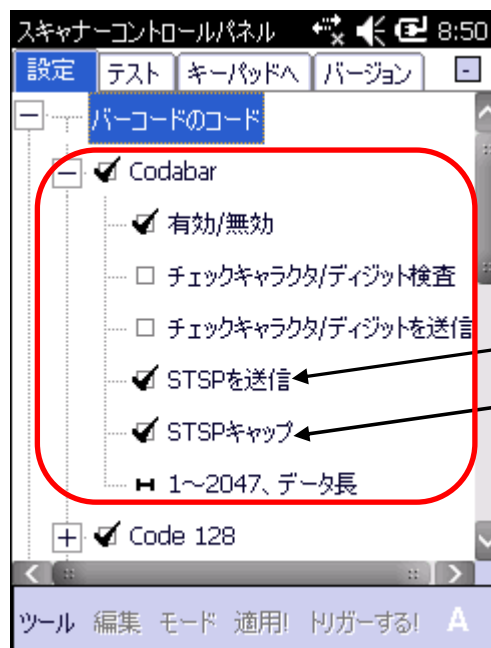
5. 設定項目

5.1. バーコードのコード

各種シンボルにチェックを入れ、画面下の『適用！』をタップすることで、読み取るシンボルを有効に設定できます。



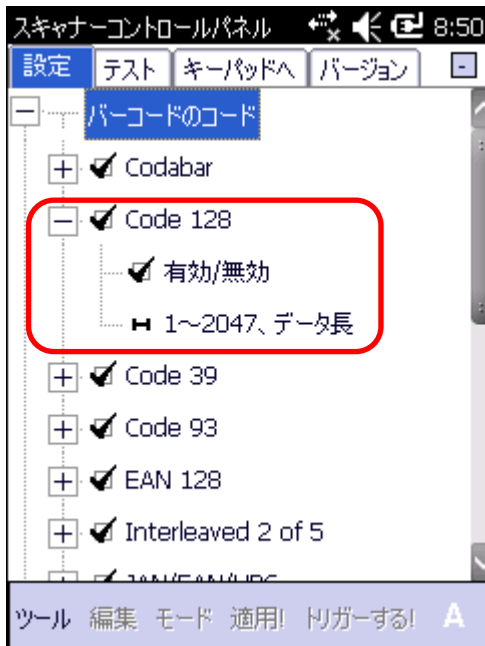
5.1.1 Codabar 詳細設定



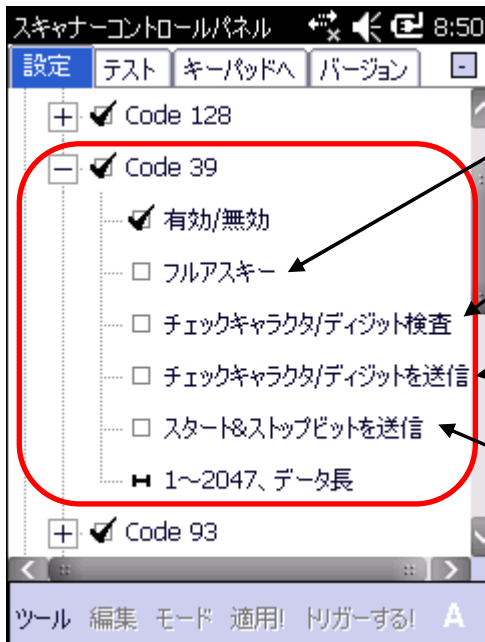
スタートビット、ストップビット送信設定

スタートビット、ストップビットの大文字小文字設定

5.1.2 Code128 詳細設定

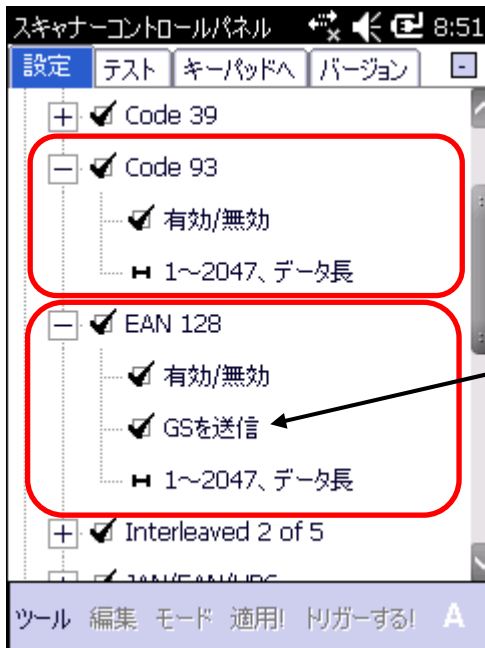


5.1.3 Code39 詳細設定



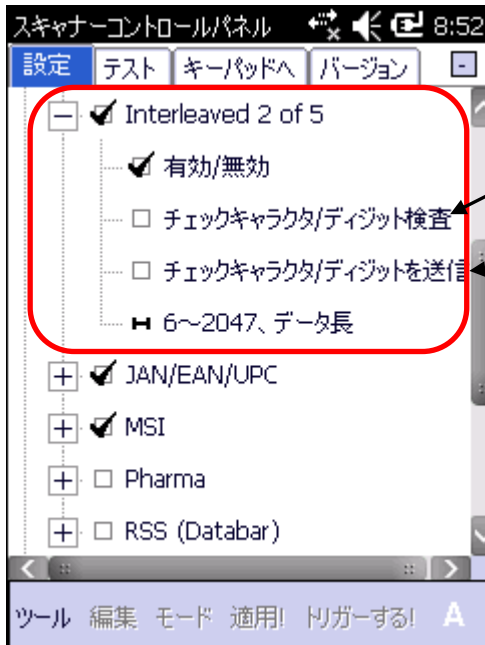
- フルアスキー出力（2つのキャラクタの組み合わせでフルアスキーを表示）が有効
- チェックキャラクタ/ディジット有無を検査。無しの場合、データは出力しない
- チェックキャラクタ/ディジット有のバーコード読取時に、チェックキャラクタ/ディジットを付加して出力
- スタート&ストップビット(*マーク)を出力

5.1.4 Code93,EAN128 詳細設定



GS キャラクタ(グループセパレータ)を送信

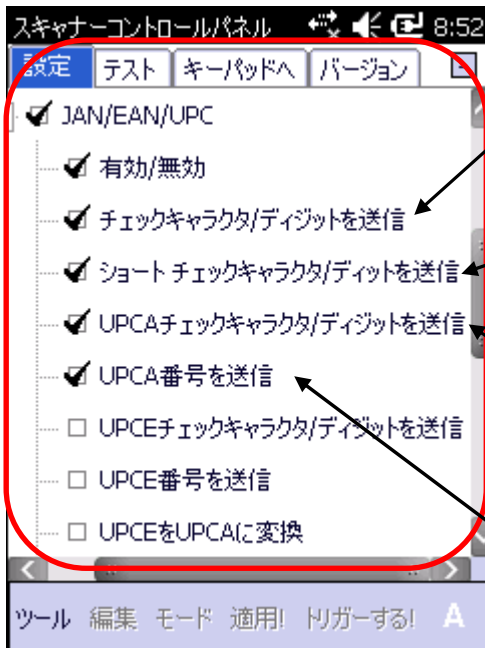
5.1.5 Interleaved 2 of 5 詳細設定



チェックキャラクタ/ディジット有無を検査。無しの場合、データは出力しない

チェックキャラクタ/ディジット有のバーコード読取時に、チェックキャラクタ/ディジットを付加して出力

5.1.6 JAN/EAN/UPC 詳細設定

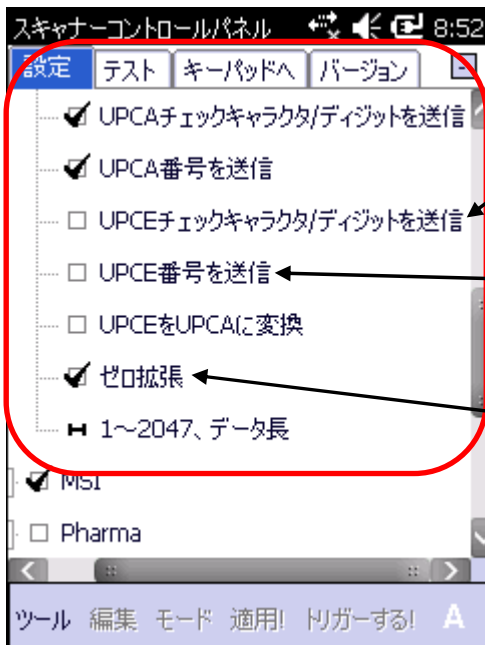


チェックキャラクタ/ディジット有のバーコード読取時に、チェックキャラクタ/ディジットを付加して出力

短縮バージョン（8桁）チェックキャラクタ/ディジット有のバーコード読取時に、チェックキャラクタ/ディジットを付加して出力

UPC-A（12桁）チェックキャラクタ/ディジット有のバーコード読取時に、チェックキャラクタ/ディジットを付加して出力

ナンバーシステムコード（先頭1桁目）を出力

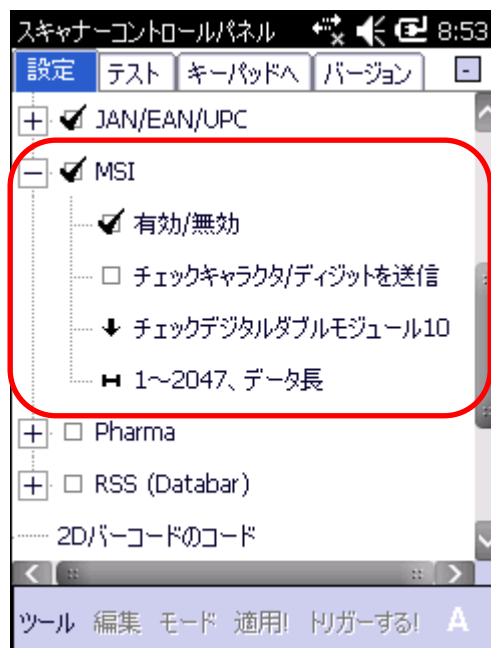


UPC-E（8桁）チェックキャラクタ/ディジット有のバーコード読取時に、チェックキャラクタ/ディジットを付加して出力

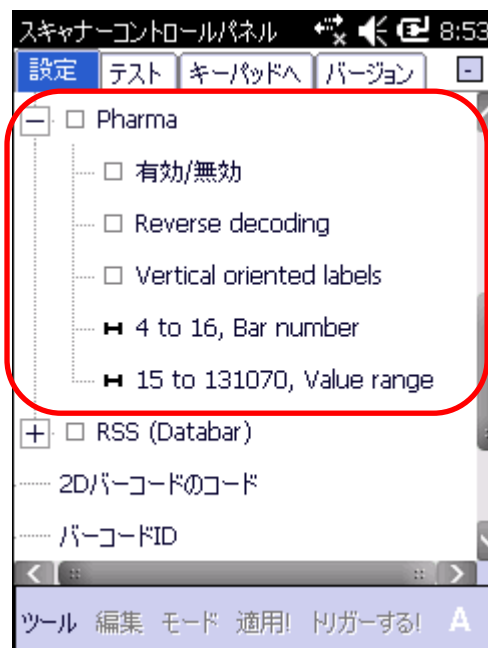
ナンバーシステムコード（先頭1桁目）を出力

チェック有りで先頭に0を付加して出力

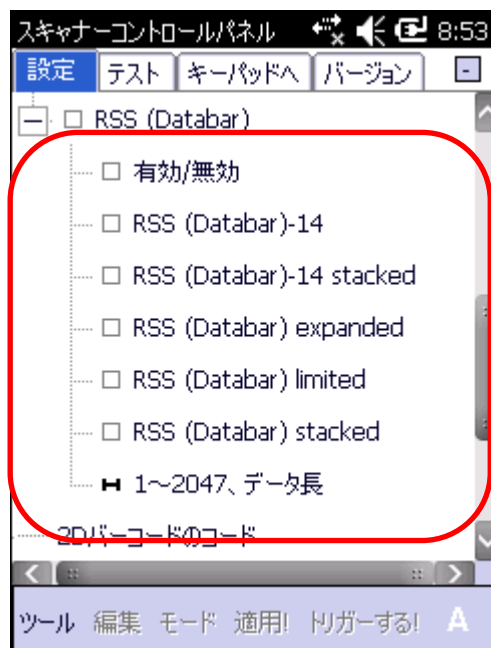
5.1.7 MSI 詳細設定



5.1.9 RSS (Databar) 詳細設定

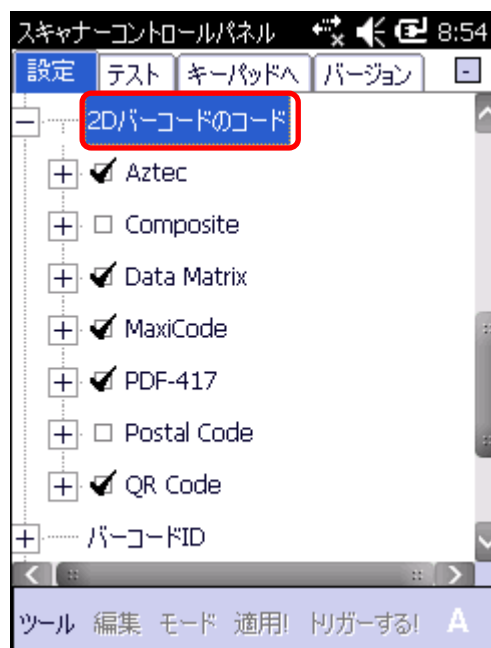


5.1.8 Pharma 詳細設定

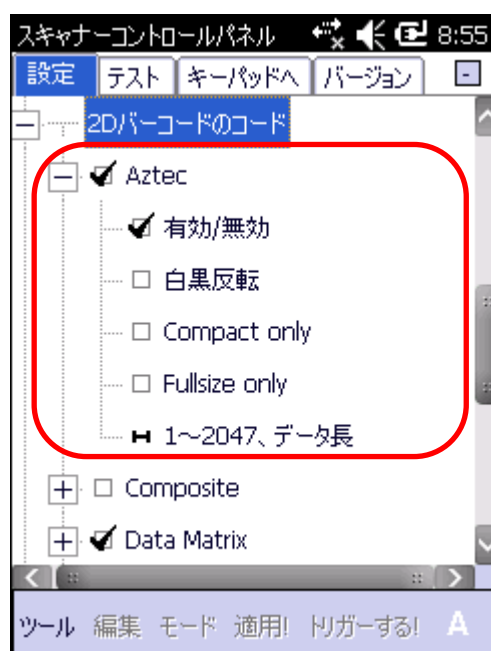


5.2. 2D バーコードのコード

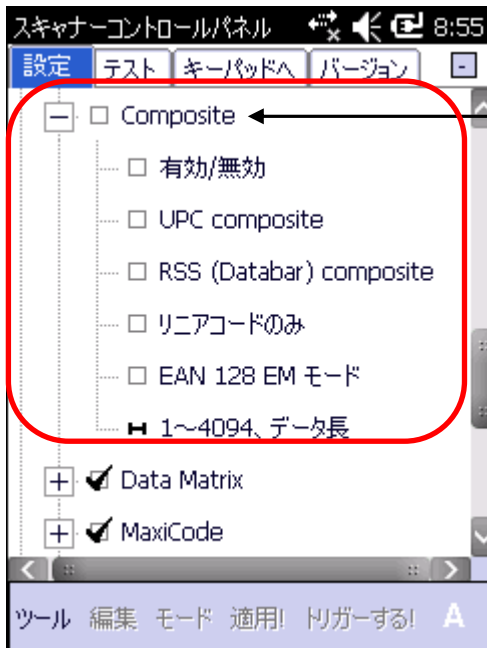
各種シンボルにチェックを入れ、画面下の『適用!』をタップすることで、読み取るシンボルを有効に設定できます。



5.2.1 Aztec 詳細設定

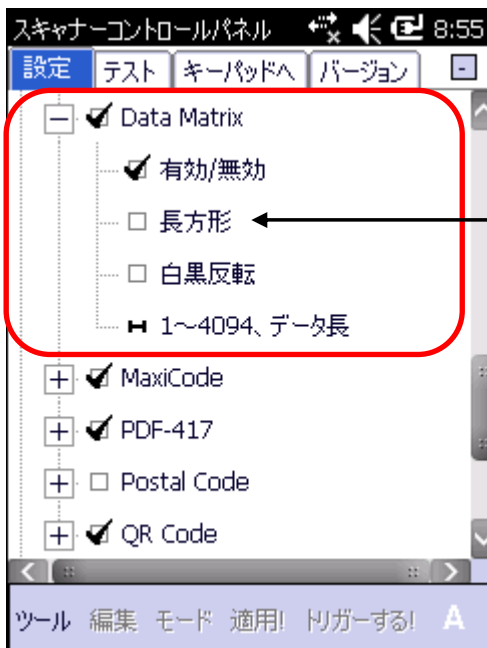


5.2.2 Composite 詳細設定



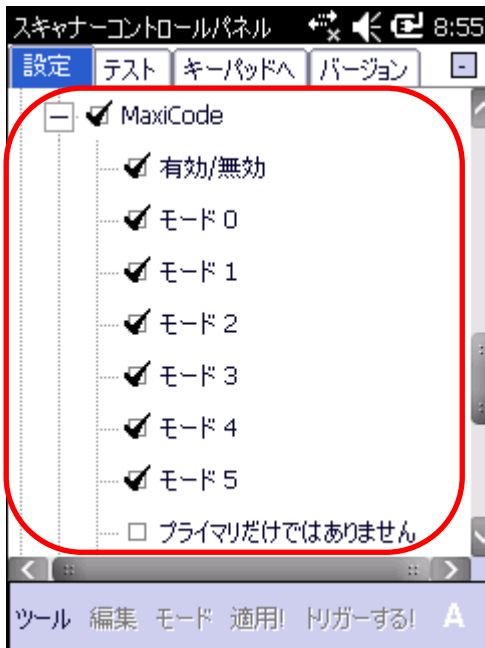
コンジットコード(合成シンボル)読取り有効/無効

5.2.3 Data Matrix 詳細設定



長方形 DataMatrix コード読取時に有効

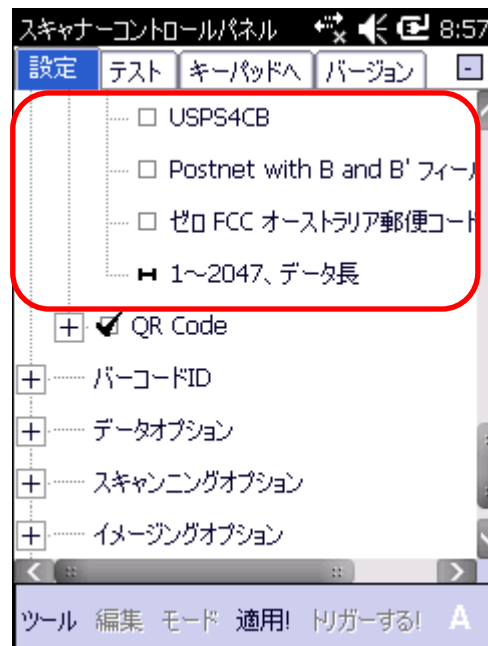
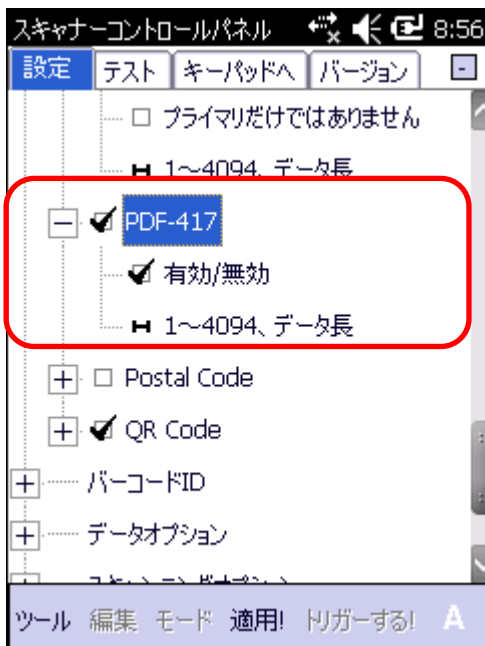
5.2.4 MaxiCode 詳細設定



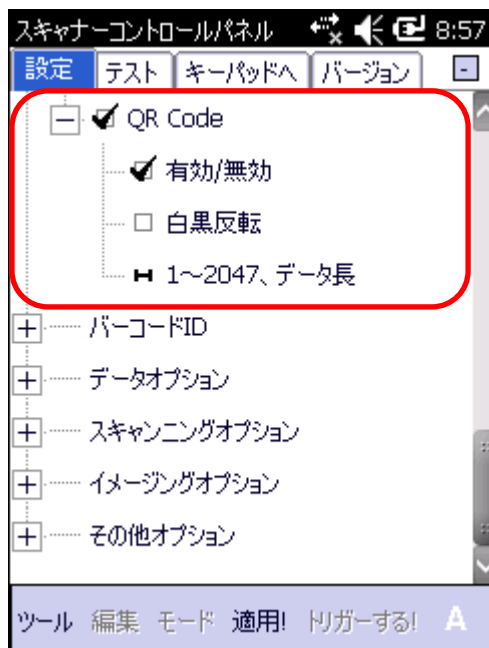
5.2.6 Composite 詳細設定



5.2.5 PDF-417 詳細設定

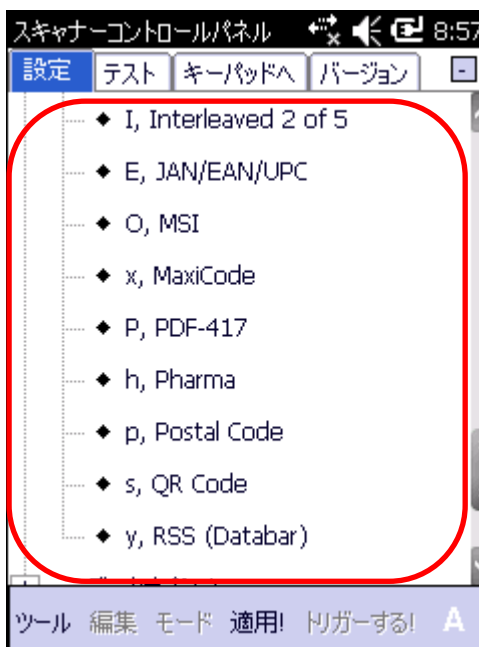
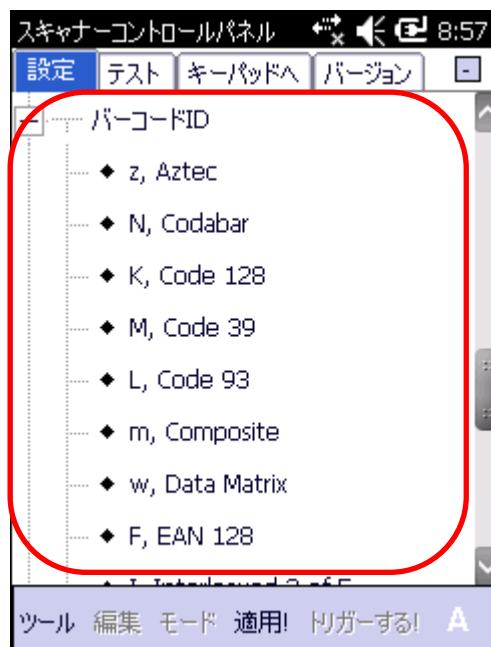


5.2.7 QR Code 詳細設定



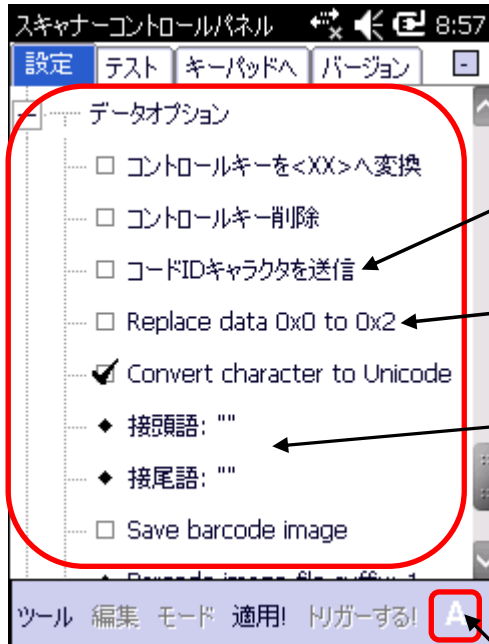
5.3. バーコード ID

『データオプション』(5-4 で説明) で『コード ID キャラクタを送信』を設定するとコードタイプによって読み取ったデータの先頭に以下の ID が付与されます。ID は変更が可能です。



5.4. データオプション

読み取ったデータの加工設定や、読み取ったバーコードの画像保存が行えます。



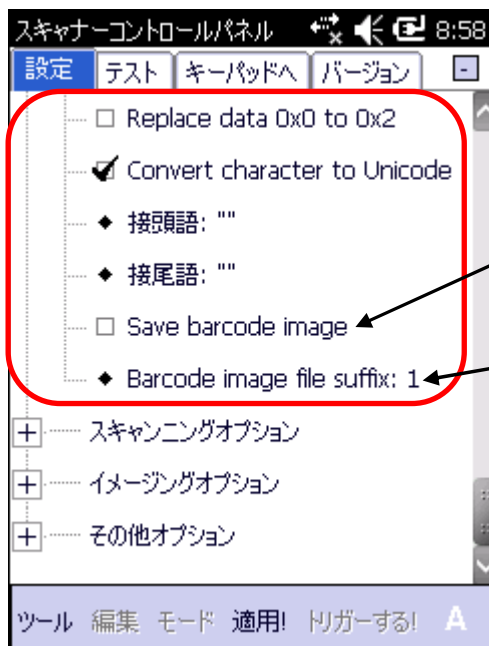
コードタイプにより先頭にコード ID を付与
※5-3.バーコード ID 参照

0x0(NUL 文字)を 0x02(SOH ヘッダ開始)に置換

読み取ったデータの先頭又は最後に文字を付与する場合に設定。文字は ASCII16 進で表記
文字設定例…A→<41>,B→<42>,C→<43>…

特殊文字…linefeed→<n>,carriage return→<r>,backspace→,tab→<t>,
 <-><<>,>→<>>,”→<”>

SIP (ソフトウェアキーボード) 起動

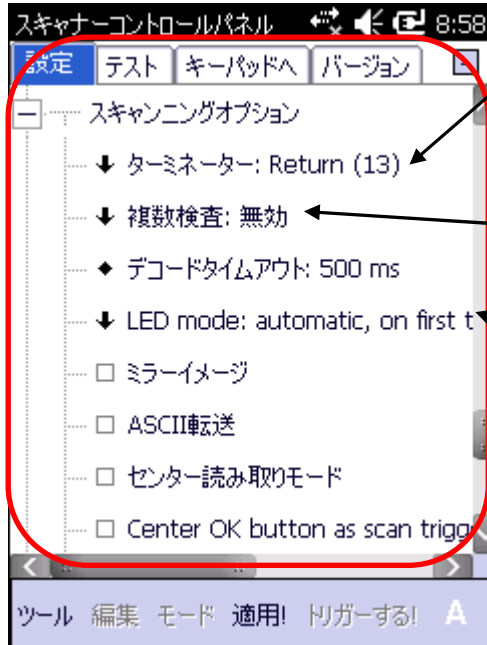


読み取ったバーコードの画像を jpg ファイルで保存

バーコード画像ファイル名通番を設定
(001~900)デフォルト 100

5.5. スキャニングオプション

スキャニング時、及びスキャン後の動作設定オプションです。



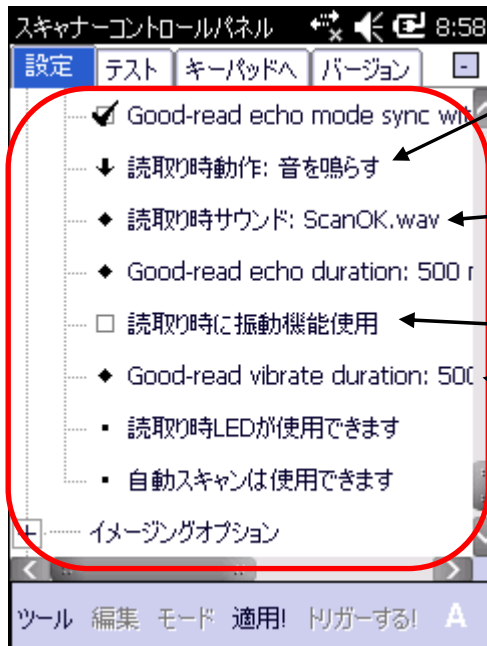
読み取ったデータ終端に付与

Enter(13-10),Return(13),改行(10),なし, Enter
Enter(13-10-13-10),Tab

複数検査…デフォルト無効 (最大7回)

LED (白) 設定

Automatic(off first time),
Automatic(on first time),
always off,always on



読み取り時動作設定

なし、ピープ、音を鳴らす

読み取り時動作で『音を鳴らす』選択時有効

バイブレータ設定

バイブレータ継続時間

(250~3000 ミリ秒) デフォルト 500

5.6. イメージングオプション・その他オプション

